

令和6年第6回(9月)
西原町議会定例会
一般質問通告

質問日	質問議員		
9月25日(水) 4人	①伊集悟	②新田宗信	③山城勝貴
	④前里光信		
9月26日(木) 3人	⑤大城好弘	⑥仲松勤	⑦真栄城哲
9月27日(金) 3人	⑧喜納昌盛	⑨屋比久満	⑩儀間駿太郎
9月30日(月) 3人	⑪伊計裕子	⑫長浜ひろみ	⑬大城誠一

一般質問通告内容(令和6年 第6回定例会)

質 問 者	① 伊 集 悟 議 員	質問の相手
<p>1. 変わる学校・西原町のこどもまんなかの取り組みについて</p>	<p>子どもの利益を最優先に考えた取り組みや政策を国の中心に据えることを社会目標に掲げ、昨年4月「こども家庭庁」がスタートしました。全ての人がこどもや子育て中の方々を応援できるよう、社会全体の意識改革が求められています。また、時代の変化とともに学校教育の在り方も大きく変わり、かつての常識が非常識になることも少なくありません。そこで伺います。</p> <p>(1) 校則及び制服の見直しの現状について</p> <p>(2) 家庭訪問の方法が変わり、玄関先訪問という形になりましたが、これまでの成果と課題について</p> <p>(3) 横浜市の小学校の学校健診で、女子児童の上半身裸での受診に対し、対応を疑問視する声が上がっており、SNS等で物議が醸されました。本町の状況について。</p> <p>(4) 体育座りについて「体への負担が大きい」ことを理由に廃止する学校が増えています。7月の青少協町民総決起大会で、小学校6年生から見直しの問題提起もありました。本町の現状と見解について。</p>	<p>教育長</p>
<p>2. 子どもの登下校時の安全確保について</p>	<p>琉球銀行西原支店裏のスクールゾーンですが、横断歩道とスクールゾーンの表示が消えており、児童生徒の横断はもちろん、自動車運転者も表示が確認できない状況です。去る5月に地域の保護者から低学年と幼稚園児の登校時に何度か危険な場面があったと早期改善の陳情があり、対応を求めましたが、進捗状況について。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 全国学力テストで見た本町の子どもたちの学力について</p>	<p>4月の全国学力テストにおいて、沖縄県は昨年度に続き、小中学校ともにすべての教科で全国の平均正答率を下回りました。中でも、小学校の算数、中学校の国語、数学では全国平均との差が広がっています。本町の教科別の正答率（本町、県、中頭、全国、全国差）及び課題について。</p>	<p>教育長</p>

※資料提供希望

	教科	本町	県	中頭	全国	全国差
小6	国語					
	算数					
中3	国語					
	数学					

4. 自主財源確保の大きな一手。ふるさと納税の本町の戦略について

平成20年に寄附総額81億円でスタートした「ふるさと納税」ですが、令和5年度に初めて寄附総額が1兆円を超えました。現状、自治体間での競争が激化し、県内でも寄附収入額の格差が生まれています。そこで伺います。

町長

※(2)(3)(4)資料提供希望

- (1) 去る6月に総務省はふるさと納税の指定基準を見直す方針を示しました。見直しのポイントについて。
- (2) 令和5年の寄附件数と寄附額及び町民による他自治体への寄附件数と寄附額、収支について

令和5年	西原町への寄附額 (収入)①		他の自治体への寄附額 (支出)②		収支①-②
	件数	金額	件数	金額	

- (3) 令和6年の直近の寄附件数と寄附額及び昨年同時期の比較について。

令和6年直近寄附額		令和5年同時期寄附額		差	
件数		件数		件数	
金額		金額		金額	

- (4) 近隣自治体との比較ために西原町、与那原町、中城村

	<p>の過去3年の寄附額の推移について。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>西原町</th> <th>与那原町</th> <th>中城村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3寄附額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4寄附額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5寄附額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		西原町	与那原町	中城村	R3寄附額				R4寄附額				R5寄附額				
	西原町	与那原町	中城村															
R3寄附額																		
R4寄附額																		
R5寄附額																		
質問者	② 新田宗信 議員	質問の相手																
1. 施政方針より	<p>(1) 『平和で人間性豊かなまちづくり』について</p> <p>ア. 地域活性化事業の推進</p> <p>(ア) 平園ハイツ A 地内にある公民館建設予定地の平園自治会への返還について見解を伺う。</p> <p>(イ) その後の町職員の自治会加入率は、どうなっているのか。</p> <p>(ウ) 日本財団の子ども第3の居場所づくりについての必要性と役割について理解を示されましたがこれまでの A 様式、B 様式の検討事項について見解を求める。</p> <p>(エ) 掛保久後間毛都市緑地の現状と課題について</p> <p>(オ) 上原公民館用地の現状と課題について</p> <p>イ. その後の本町内における南部広域行政組合の焼却施設の設置についての報告と今後のスケジュールを求める。</p> <p>(2) 学校運営協議会制度の導入後について</p> <p>ア. 今年度の計画と問題点を求める。</p> <p>イ. その後、給食費の無償化を含めた議論がなされたか伺う。</p> <p>ウ. 過去3年の平均的町民所得と学校給食の無償化及び水道料金の見直しについて見解を伺う。</p> <p>エ. その後の農福連携と学校給食の食材の確保または取組について伺う。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長 農業委員長</p>																

<p>2. 町政運営について</p>	<p>(1) 『安全で環境にやさしいまちづくり』について</p> <p>ア. 消防・防災体制等の確立</p> <p>(ア) 『災害等から町民の身体、生命及び財産を守る』と掲げていますが4月3日の台湾での地震に伴う津波警報による住民の安全確保とその後の問題点等の周知をホームページや広報又は掲示依頼を行なったとのことだが十分に周知されたか。</p> <p>(イ) 町民の生命や財産の保護を具体的かつ実践的に対応できるよう消防及びその他の関係機関、自主防災組織との連携をどの様に図ったかの問いに、関係機関に避難連絡し、避難計画とおり避難が行われたとのことでしたが間違いはないか。</p> <p>(ウ) 本町の水害対策について見解を伺う。</p> <p>(2) 区画整理事業について</p> <p>ア. 現在行われている区画整理事業の進捗状況と完成事業年度を伺う。</p> <p>イ. 仮換地の際、アパートへの入居を余儀なくされている18世帯への一般会計より令和5年度末での充当額1億7,800万円について監査委員には具体的な説明等を述べる立場にないとのことでしたが再質問に対し、決算監査や審査意見書の中で今後述べる必要があるかとの答弁でしたが監査事務局が議員の一般質問に対し監査委員が出席できていない状況で意見するその真意を伺う。</p> <p>(3) 『豊かで活力のあるまちづくり』について</p> <p>ア. 農業の振興</p> <p>(ア) 本町の遊休地の実態と対策を求める。</p> <p>(イ) 農業委員会の役割と農業政策の周知を図るうえでの見解を伺う。</p> <p>(ウ) 地産地消をどのように育むのか、その後の実績を購入額にて伺う。</p> <p>イ. 観光振興および都市基盤施設の整備について</p> <p>(ア) 改めて西原町の観光資源とは何を表すのか。経済効果の指数を求める。</p> <p>(イ) 2期目を迎えるにあたりモノレールの延伸に</p>	<p>町 長 教育長 農業委員会 長</p> <p>町 長 監査委員</p> <p>町 長 農業委員会 長</p> <p>町 長</p>
--------------------	---	--

<p>3. 行財政改革について</p>	<p>ついでの見解を伺う。 (ウ) モノレール駅の再開発を含めた都市基盤施設の位置づけをどのように考えるか見解を求める。</p> <p>ウ. 道路網及び排水施設の整備について (ア) 小波津川の橋の立替工事に伴う迂回道路の設置について伺う。 (イ) 金秀鉄工裏の農道整備について見解を伺う。</p> <p>(4) その他 ア. 里道等整備について (ア) 平園1号線の延伸に位置する里道について (イ) 呉屋156に隣接する水路の利活用について</p> <p>(1) 職員の定期昇給について ア. 平成25年度に政府より55歳からの定期昇給の見直しが出されたかと思うが本町における現状と今後の見直しについての見解を求める改めて伺う。 イ. これまでの監査委員に対して質問した案件について監査事務局は監査委員の職務は西原町の財務に関する事務の執行及び経営に関する事務の管理並びに行政事務の執行を監査することを基本的職務としており、その職務の範囲外の質問については、回答できないものと考えているとのことでしたが、これまでの監査委員に対する質問の中でどの部分が範囲外なのか、その根拠を示されたい。</p>	<p>町長 監査委員</p>
<p>質問者</p>	<p>③ 山城勝貴議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 町行政について</p>	<p>崎原町政2期目がスタートします。公約について以下の点をお聞きします。</p> <p>(1) 西原西地区土地区画整理事業の更なる進捗を図る為の具体的な取り組み内容を伺います。</p> <p>(2) 徳佐田地区、幸地地区の区画整理事業について具体的な</p>	<p>町長</p>

<p>2.福祉行政について</p>	<p>取り組み内容を伺います。</p> <p>(3) 町内児童館の小学校への併設化に取り組むとあります。取り組み内容を伺います。</p> <p>西原町の65歳以上の人口は7月末現在で8,500名を超えてきている。高齢化率も23.8%とここ4年間で3.2%上昇してきています。そこで伺います。</p> <p>(1) 地域包括支援センターについて本来であれば中学校区に1ヶ所設置することが望ましい事と、国の基準では第一号被保険者の人口が3,000~6,000人に一か所となっています。以前の質問では基幹型の設置について検討するとの事でありました。進捗について伺います。</p> <p>(2) いいあんべ一家について、9月議会終了後には次年度に向けてプロポーザル方式での選定が行われると思います。行政職員以外の地域代表者や有識者を選定委員に含めることは検討可能か再度伺います。</p> <p>(3) 高齢者の身元保証について以前より成年後見制度への移行や後見人報酬補助について検討可能か質問してきました。他市町村では後見人報酬に対して補助を支給している市町村もあり格差が出始めています。本町の見解をお聞きします。</p> <p>(4) 40歳以上の2号被保険者の申請が徐々に増えてきているとの声が現場では聞こえます。今年の1月2号被保険者の介護認定数は36名、7月現在では40名と若干名増えてきています。今後も増えていくことが想定されます。若年性脳梗塞や突然の難病、スポーツや日常生活上の不慮の事故などが要因として挙げられますが、第2号被保険者、主に40代などの若い世代を対象に介護予防に関する知識の普及、周知活動は必要であると考えます。現状と課題をお聞きします。</p> <p>(5) 地域における通いの場や自身体操サークルの現状につ</p>	<p>町 長</p>
-------------------	---	------------

<p>3.教育行政について</p>	<p>いて伺います。</p> <p>(6) 重層的支援体制整備事業について見解を改めて伺います。</p> <p>教育行政について以下の点について伺います。</p> <p>(1) スクールサポートスタッフに対する現場の評価や現場からのニーズについて伺います。</p> <p>(2) 多種多様な在住外国人への日本語学習について現状と課題を伺います。</p>	<p>教育長</p>
<p>4.公園、スポーツ施設、学校施設における安全対策について</p>	<p>2024年4月に宮崎県でサッカーの試合中に落雷があり18人が搬送され、うち2名が意識不明の重症を負う事例がありました。また、これまでも全国各地で競技中の落雷事故は発生しており、死亡事故も起きています。</p> <p>屋外競技の指導者は研修等を通して、日頃の安全確保に努めていますが、沖縄の天候は急変しやすく予測がしづらい現状があります。天候急変時には避難誘導などの人的な対策だけでなく、ハード面での対策も必要であると考えます。そこで以下の点をお聞きします。</p> <p>(1) 陸上競技場、東崎公園野球場、サッカー場の使用頻度について伺います。</p> <p>(2) 安全対策について現状と課題を伺います。</p> <p>(3) 陸上競技場、東崎公園、イルカ公園など主要な公園、スポーツ施設に避雷針等の設置は検討可能か伺います。</p>	<p>町長</p>

質問者	④ 前 里 光 信 議 員	質問の相手
1. 町政運営について	<p>(1) 焼却炉(ごみ処理施設)について 去る6月定例議会以降、この件に関し、どのような前進があったのか、説明を求める。</p> <p>(2) 「子どもの居場所作り」について、西原町の現状について説明されたい。</p> <p>(3) 自殺予防事業について 9月10日～16日は自殺予防週間との事ですが、西原町の実状について聞く。 ア. 過去5年間はどのような状況か数字で示めされたい。 イ. 男性何名、女性何名か。 ウ. その原因はどう分析しているか。 エ. 町がやってきた具体例を示されたい。 オ. 今後の取り組み、又は対策について説明されたい。</p> <p>(4) マイナンバーカードを申請し所持している町民は現在何人か、全体の何%か。そのメリット、デメリットはどうなるか。</p> <p>(5) 町長の2期目の選挙公約について ア. 町長の選挙チラシに「オール西原」とあるが、その意味する内容は何か。 イ. 「火葬場建設等を含む施設に取り組み、お悔やみにおける町民の負担軽減を図ります。」とありますが今後の取り組みについて質問する。 ウ. 「マックスバリュ坂田店の移転」について、その実態について説明されたい。8億円の移転費等、その交渉内容等。 エ. 「西原西地区土地区画整理事業推進」とありますが予定より10年以上遅れ、国、県の予算獲得が評価出来ない。今後どうなるんですか。 オ. 「30箇所がいいあんべー共生事業を訪問した」とあるが、その感想は?</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

2.教育行政について	OISTについて OKINAWA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGYと西原町とのかかわりについて聞く。	教育長
質問者	⑤ 大城好弘 議員	質問の相手
1. 町政について	<p>(1) 琉大医学部の移転について</p> <p>ア. 跡地利用検討委員会の進捗について</p> <p>イ. 本町として跡地利用計画、構想はどうなっているか。</p> <p>ウ. 敷地面積について</p> <p>エ. 利活用については、産官学合同の施設を配置し都市機能も併合し、沖縄観光の拠点（中心核）と位置づけ、国、県、西原町含めて最上階宿泊施設（ホテル）100階建高層ビルを提案いたします。町長に見解を問う。</p>	町長
2. 教育行政について	<p>(1) 西原東小学校建設検討委員会について</p> <p>ア. 委員会の立上げの時期</p> <p>イ. メンバーについて</p> <p>ウ. 目的内容について</p> <p>エ. コンクリート落下防止工事について</p> <p>(2) 平成27年6月学校教育法等に係る法律が改正され平成28年度から小中一貫校が制度化された。全国では一貫校に移行されその成果が数多く評価されております。</p> <p>ア. 本町も小中一貫校を導入検討すべきと考えるが取組について</p> <p>イ. 西原東小学校建設については、本町の学校の総合的配置に基づいて統廃合を検討すべきと教示。(例) 東中学校に東小学校を移行し、一貫校も検討すべきと考えるが？</p> <p>ウ. 坂田小学校区（西地区）は新設学校一校増し西地区は2校で小中一貫校9年生移行導入の検討について</p> <p>エ. 学校舎については総合計画を策定し、教育行政抜本的構想を策定すべきか問う。</p>	教育長

質問者	⑥ 仲 松 勤 議 員	質問の相手
1. 子育て支援の推進について	<p>(1) 市町村負担のない給食費無償化を求める 学校給食無償化について-</p> <p>沖縄県が令和7年度から給食費の無償化の支援を行うとの発表がされ、各市町村や県民の期待も高まっている。しかしながら、報道によると、給食費の無償化は中学生のみで小学生は対象外となっており、その費用の1/2を沖縄県が補助するという内容である。さらに各市町村が行っている就学援助の無償化も対象外となっている。</p> <p>県内各市町村においては、県知事の公約である給食費の無償化が、事前に協議もないままこのような形で発表された戸惑いを覚えるなか、6月5日に県市長会の臨時総会が開かれ、小学生も含めて全額負担で実現するよう求める決議が全会一致で可決された。</p> <p>子育て支援に地域格差が生じることなく、かつ安定した学校給食費が受けられるよう、各市町村と協議し、市町村負担のない全額県費負担による小学校も含めた学校給食費無償化を実現されるよう強く要望したい。</p> <p>ア. 中学校のみ学校給食費 1/2 補助制度が実現した場合において、西原町では残りの 1/2 を補助し、全額無償化とする思いはありますか。</p> <p>イ. その場合、中学校のみでの町の自己負担はどの程度になりますか。</p> <p>ウ. 小学校における給食費無償化においては、どのように考えていますか。実現可能ですか</p> <p>エ. 令和8年度において、県からの小学校・中学校における全額給食費無償化についての提案はありますか。県知事任期の最終年度になります。</p>	町 長
	<p>(2) 18歳までの医療費の無料化の実現について</p> <p>近隣市町村の中城村ではすでに実施2年となります。宜野湾市においても来年4月からは確約されています。西原町においても子ども支援政策の一つとして、18歳までの医療費無償化を是非実現してほしいと考えます。</p> <p>仮に西原町が18歳までに医療費無償化が実施できた場合、それに伴う1年間の予算について問います。</p>	町 長

	<p>(3) 学校校舎の建て替えについて 現状と課題、またどのような財政計画かを問います。</p>	町 長
<p>2. 明るいまちづくりについて</p>	<p>(1) マイスの早期建設推進・背後地周辺の土地利用の見直しについて ア. マイスの現状と、課題はどのようになっていますか。そしてその進捗状況、県の計画状況を問います。 イ. 背後地周辺の土地計画について現状と課題を問います。 ウ. マイス整備を前提とした町都市基本計画の策定について具体的な計画を問います。</p> <p>(2) 琉球大学附属病院跡地利用計画について 町長公約において跡地利用の推進について述べておりますが、どのような計画でしょうか、現状と課題を問います。</p> <p>(3) 町内企業優先発注・町産品優先使用について 町内企業のさらなる発展や企業育成のための優先発注や使用について、どのように推進しますか。</p> <p>(4) 西地区、徳佐田地区および幸地地区の区画整理事業において現状と課題を問います。</p>	町 長
<p>3. 安心できる行政運営について</p>	<p>(1) 町長公約に掲げている国や県に働きかける財源確保、事業実施の現状と課題を問います。</p> <p>(2) 西原町の町づくりは町民とともに 町長公約として「西原町の町づくりは町民とともに、オール西原で、町民主役・町民目線、町民対話を基本に行政運営を進めます」と力強く述べています。大変重要な視点であり、今こそ最上位計画としての基本構想・総合計画の策定に取り組む時期であると考えます。今一度、総合計画策定の重要性についてご説明いたします。 まず、基本構想・総合計画は市町村の未来を見据え、住民の皆様と一緒に方向性を定める大変重要なものです。この計画は、町の発展と持続可能な成長を支える基</p>	町 長

盤となるものであり、住民一人ひとりの生活の質を向上させるための指針となります。

意見として、住民ニーズが急速に変わる中で五年ごとの計画策定では対応が難しいという点が述べられることがあり、理解できる点でもあります。しかし、総合計画は固定的なものではなく、柔軟性を持たせることが可能です。計画策定のプロセスには定期的な見直しや評価が組み込まれており、その過程で住民の意見やニーズを反映させることができます。

また、基本構想・総合計画を持つことで、以下のメリットが得られます。

ア. 一貫性のある政策運営：計画を基に一貫性のある政策運営が可能となり、短期的な変動に左右されずに持続的な成長を目指すことができます。

イ. 予算の効率的な配分：計画に基づいた優先順位を定めることで、予算の効率的な配分が可能となり、無駄を減らし、効果的な施策を実行できます。

ウ. 住民の参加と協力：計画策定プロセスに住民の皆様が参加することで、共に考え、協力し合う姿勢が生まれます。これはコミュニティの絆を深め、町全体の発展に大きく寄与します。

基本構想・総合計画は、「未来を見据えた指針」であり、その時々状況に応じて柔軟に対応できる仕組みを構築することで、住民ニーズに応じた発展を続けることができると考えています。

基本構想・総合計画の規定について、国による自治体への義務付けの見直しの一環として、2011（平成 23 年）の地方自治法改正で廃止されましたが、義務付けが廃止された後もほとんどの自治体は基本構想・総合計画を策定しています。そのことについて、議員必携においても以下が述べられています。

<議員必携第 2 章議会の権限 4 より抜粋>

第一期地方分権改革当時の地方分権推進委員会は、第 2 次勧告（平成 9 年 7 月 8 日）において、「地方議会の活性化」を図るため、地方議会の機能強化措置の一つとして、「地方公共団体は議決事件の条例による追加を可能とする規定（地方自治法第 96 条第 2 項）の活用を努めること。」を明記している。一方、市町村の基本構想・基本計画については平成 23 年の

	<p>法改正で策定義務がなくなったが、当該団体の将来に関する重要事項であることから、法の規定がなくても策定されるべきものとする。その場合は、法第 96 条第 2 項の議決事件として追加を検討する必要がある。また、市町村の基本構想・総合計画については、長及び議員双方に提案権がある。</p> <p>とのことです。沖縄県内他市町村においては、総合計画が議会議決とされていることを付け加えさせていただきます。総合計画を通じて、町の未来を住民の皆様と共に考え、築き上げていくことが何より重要だと信じております。総合計画の策定を町民の代表者として強く要望します。町長の見解を問います。</p>	
<p>4. 普天間飛行場の現状と課題</p>	<p>地域住民の安全確保に向けた移設の重要性について</p> <p>普天間飛行場は住宅地に隣接しており、騒音や事故のリスクが高いため、早急に移設が必要です。さらに、国の安全保障にとって日米同盟は極めて重要であり、沖縄はその要となっています。移設が進まない限り、普天間の危険な状況が続き、地域住民へのリスクが避けられません。辺野古への移設は、地域の安全を守るための現実的な解決策です。最高裁判所も、これまでの一連の訴訟において、日本政府の判断を支持しており、法的にも問題がないことが確認されています。政府は、地域住民の安全と国の防衛という重要な課題を両立させるため、移設を推進しています。そのため、辺野古移設は現実的かつ妥当な選択肢であり、地域の安全保障と国全体の利益に貢献するものだと主張できます。</p> <p>このことについて普天間基地が存在する宜野湾市において賛成する声があることは重要な点です。</p> <p>行政を預かる者として、地域住民の安全と生活の質を守ることが最優先事項であり、国の安全保障や地域の発展にも寄与する最適な解決策を模索していくことが行政の責務だと考えています。町長の見解を問います。</p>	<p>町 長</p>
<p>5. 教育委員の選任について</p>	<p>教育委員の選任方法を問います。</p>	<p>町 長 教育長</p>

質問者	⑦ 真栄城 哲 議員	質問の相手
1. 「文教のまち」元気プロジェクト事業について	<p>6月定例会で当該事業について、いくつかの疑義について、以下の件を伺う。</p> <p>(1) しっかりと調査を行うよう求めたが、その結果はどうなったのか伺う。</p> <p>(2) 喜納議員への答弁で「当該事業の予算の業務仕分けや委託料の支払い方法に疑義があり、本来の事業用途とは違う使い方をしている」と答弁があった。</p> <p>ア. 議会への説明なしに、当初上程された事業内容とは違う形で、予算が執行されているが説明を求める。</p> <p>イ. 今回のような事態が起きた場合、本来の手順を伺う。</p>	町 長 教育長
2. デジタルリテラシー事業について	<p>令和5年度西原町一般会計・特別会計歳入歳出予算及び基金運用状況意見書が監査委員から提出され、当該事業について不適切な事案があると報告された。</p> <p>意見書で指摘のあった①～④について、詳細を伺う。</p> <p>※詳細資料の準備。</p>	町 長 教育長
3. 今回行われた人事について	<p>大項目1、2に該当する所管課長が降任となり、所管部長が兼任することとなった。どのような判断理由で、この人事が行われたのか伺う。</p>	町 長 教育長
4. 大雨災害の対策及び公有水面排水路について	<p>6月14日の大雨により、町内各所及び小那覇工業専用地域などに浸水被害があった。近年の気候変動により、その被害は大きくなっている。以下の件を伺う。</p> <p>ア. 今回の被害状況を伺う。</p> <p>イ. 毎回のように浸水被害が大きい、小那覇地域に設置した、水中ポンプの効果について伺う。</p> <p>ウ. 今できる本町の対策を伺う。</p>	町 長

質問者	⑧ 喜納昌盛 議員	質問の相手
町長 2 期目に向けての施策等について	<p>(1) 崎原町長、無投票で 2 期目の当選をされた。同時に、町議補選も無投票で 1 人当選されてきた。町長の感想は。併せて、どのような公約を掲げ、又、新体制についての考えはあるのか。</p> <p>(2) 西原町中央公民館の再編整備についての今後の進め方は。又、他の公共施設の老朽化・立替えの問題や、財政の見通しについての考えは。</p> <p>(3) 町立図書館は、今年、開館 20 周年を迎えた。現状と課題、今後の利活用のあり方は。又、周辺の整備についての施策は。</p> <p>(4) 来年の 2025 年は、第 2 次世界大戦の日本敗戦から 80 年になる。苛烈な沖縄の地上戦は、今なお県民に多くの爪痕を残しているが、その風化が懸念されて久しい。未だこの地球上では、戦争や紛争が絶えず、愚かな戦はいずれ終結し、多くの人命が奪われ、残ったものは焦土化した故郷だけ、というのが沖縄人（ウチナーンチュ）の実体験だ。今、沖縄の置かれている軍事情勢は、再び戦前の様相を呈しているとしか思えない。ここ西原も激戦の地であり沖縄戦を風化させないためにも何らかの事業の計画は考えられないか。</p>	町長 町長 町長 町長
質問者	⑨ 屋比久満 議員	質問の相手
1. 2 期目当選について	<p>崎原町長は、2 期目の選挙におかれましては、対抗馬もなく、無投票での当選おめでとうございます。</p> <p>今回無投票になったのは、この 4 年間で町長が公約を押し進めたことが町民に評価されたのではないかと思います。</p> <p>そこで以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 1 期 4 年間の公約についての評価と反省点が有れば、お伺いします。</p> <p>(2) 2 期目の重点公約をお伺いします。また公約を推進するために、町民の皆様、職員の皆様へ思いの丈を述べてください。</p>	町長

<p>2. 道路行政について</p>	<p>(3) 2期目の3役人事について、見解をお伺いします。</p> <p>本町は、県道・町道・街路事業を押し進めておりますが、予算がつかない為なのか進捗状況が悪いように感じます。そこで以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 国道329号線とマックスバリュー側の接続について、課題と、進捗遅れの見解をお伺いします。</p> <p>(2) 兼久地域へドラックストアが開店しましたが、歩道側が整備されてなく段差が有り住民から苦情が来ておりますが、店舗出入り口の歩道整備について見解をお伺いします。</p> <p>(3) 我謝白川道路の浸水について、住民から動画を見させてもらいましたが、まるで川のように濁流が住宅まで浸水しそうでした。対策等について見解をお伺いします。</p> <p>(4) 兼久・安室線の国道から西原小学校まで収容した土地がススキや銀ねむの木が邪魔で小学生の登下校に危険を感じると住民から相談が有り、対策をお伺いします。</p> <p>(5) 以前も質問しましたが、国道の我謝交差点から東崎に入る町道が、東崎側から信号まで猛スピードで来るので、歩道が無いので通学時の児童が危険を感じているとのことですが、今まで対策が講じられてないのは、何故か見解をお伺いします。</p> <p>(6) 6月議会で、我謝810-28アパート前の歩道に障害物（ガードレール）が設置されており、自転車による事故が多発しているお質問しましたが点滅灯での早急な対応ありがとうございました。そこで、ガードレール等の撤去について、国道事務所との進捗状況をお伺いします。</p>	<p>町長</p>
--------------------	---	-----------

<p>3. 空き地店舗開発について</p>	<p>美咲地域の国道沿いの空き地の、有効活用について、コンビニに次いで寿司チェーン店が年内で完成し、来年1月にオープン予定です。</p> <p>そこで以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 土地住宅の空き地は、全体で何坪有るかをお伺いします。</p> <p>(2) コンビニと寿司チェーン店が進出したことにより町に入る税金や、経済効果をお伺いします。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. ごみ処理施設について</p>	<p>新ごみ処理施設の建設場所に、小那覇に内定したが、7月にあった、住民説明会についてお聞きします。</p> <p>(1) 説明会には、町民や地権者等からどのような意見が交わされたのかをお伺いします。</p>	<p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑩ 儀 間 駿太郎 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 教育行政について</p>	<p>社会環境の変化が大きく・早い時代の中で教育現場でもその変化へ対応しながら試行錯誤している状況かと思えます。</p> <p>そこで以下について伺います。</p> <p>(1) 町内小中学校における、通信環境について課題はあるか伺う。</p> <p>(2) 西原中学校における、プール授業が民間のスイミングスクールを活用して行われたがその取り組みにおける児童生徒・保護者・教員はどのような反応があったのか。</p> <p>(3) 本町における社会教育へどの様に考えているのか。また、現在行われている事業等はあるのか。</p> <p>(4) 本町の不登校件数と当該児童・生徒及び家庭との連携はどの様に行なっているか。</p>	<p>教育長</p>

<p>2. 行政サービスについて</p> <p>3. 町政全般について</p>	<p>本町における DX への取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 本町、庁舎内におけるサーバーが故障していましたがその後の状況は。</p> <p>(2) 本町の公式 LINE をもっと活用するべきだと思うがいかがでしょうか。</p> <p>(3) 議会及び職員へデジタル端末を活用したペーパーレス化と作業効率化を推進すべきだと思うがいかがでしょうか。</p> <p>(4) 災害時における通信インフラの確保にスターリンクを活用できないでしょうか。</p> <p>(1) 兼久・東崎線の工事の進捗状況と開通までのタイムスケジュールを伺う。</p> <p>(2) 町民体育館内にあるトレーニング室の器具の管理と更新についてどの様に考えているのか。</p> <p>(3) 自主財源の確保と今後の財政健全化に向けた取り組みはどの様に考えているのか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑩ 伊 計 裕 子 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 現行の健康保険証廃止について</p>	<p>岸田政権は昨年度補正予算でマイナ保険証の普及に向けて 887 億円を計上。申請は不要で、支援金の要件は、一定の利用人数増のほか、窓口での厚労省の指定ポスター掲示、厚労相作成「台本」に沿った「声かけ」と指定チラシの配布徹底。にもかかわらず、8 月 30 日厚労省が公表したパブリックコメントの結果は、提出された 5 万 3028 件の意見のほとんどが、保険証廃止に反対です。そもそもマイナンバーカードを作るかどうかは任意であり、マイナンバーカードを保険証として登録するのも保険証として使うかどうかも任意です。以下について伺います。</p> <p>(1) 任意であることを町民に周知しているでしょうか。</p> <p>(2) 全国では、トラブル続出とのことですが、町内ではいかがでしょうか。</p>	<p>町 長</p>

<p>2. 介護報酬改定について</p> <p>3. 教員の長時間労働について</p> <p>4. 女性差別撤廃条約選択議定書について</p>	<p>(3) 町長の認識を伺います。</p> <p>今年4月の介護報酬改定で訪問介護の基本報酬が引き下げられたことを受けて、コープ福祉機構が事業所へアンケート調査を行い、7月29日公表したところによりますと、「事業が見通せない」「ヘルパー不足が加速」。全国的には事業所ゼロ自治体が97町村、事業所1自治体が277市町村となっています。町内事業所の状況はいかがでしょうか。</p> <p>中教審特別部会が7月26日に答申案を公表しました。審議で最も注目されていたのは、教員給与特別法（給特法）でしたが、調整額が4%から10%以上に。教員の仕事は裁量が大きく、何が時間外となるか難しいとのことですが、私立や国立大付属の教員には、給特法は適用されていません。給特法改定案の国会審議はこれからです。町長、教育長の見解を伺います。</p> <p>女性差別撤廃条約は、1979年国連総会で採択され、1981年発効。日本は1985年締結。女性差別撤廃条約選択議定書は、1999年採択、2000年発効。日本はまだ批准していません。女性差別撤廃条約を実質的なものにするためにも選択議定書の批准が求められています。町長の認識を伺います。</p>	<p>町長</p> <p>町長 教育長</p> <p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑫ 長 浜 ひろみ 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 児童手当について</p>	<p>令和6年10月から児童手当が所得制限が撤廃され大幅に拡充されます。</p> <p>(1) 今まで中学3年まででしたが、高校卒業年代まで拡充されることにより、必要な手続きは</p> <p>(2) 第3子以降一人につき3万円が支給されますが第3子の定義は</p> <p>(3) 申請が必要な場合と必要でない場合の説明を求める。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 女性の健康支援とがん教育について</p>	<p>10月 は乳がん撲滅月間である。乳がんは早期発見と適切な治療をきちんと受ければ、がんの中でも完治や生存率が高いとされている。前回一般質問にて、女性特有のがん治療に伴う外見の変化に対して、女性の健康と自立を応援するためのアピアランスケア用品の購入費補助を全国でも年々多くの自治体が導入し、沖縄県でも今年度からがん治療により外見が変化した患者のウィッグや乳房補正具の購入費を支援する事業ウィッグ等助成事業について、購入費の一部助成が、新規事業として実地、令和6年度予算で当該事業の市町村助成実績の1/2を補助するとしている。この助成事業は、本町でも取り入れるべきであると思い前回3月定例議会で一般質問しましたが、その後の見解を伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 公園遊具の点検について</p>	<p>(1) 町内児童公園の遊具点検はどこが行っているか</p> <p>(2) いるか公園の遊具の点検はどこが行っているか</p> <p>(3) いるか公園の遊具ローラーが滑りにくくなっていたり、壊れている部品があると町民から相談が寄せられたりするが</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 熱中症対策について</p>	<p>今年の夏も猛暑が続きました。光熱費を節約したため高齢者に限らず熱中症で亡くなるという痛ましい事故も報道されました。</p> <p>(1) 熱中症対策として猛暑が続く夏季限定で各字へ光熱費を支援できないか</p> <p>(2) 公共施設を熱中症対策施設として指定できないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>5. 教育行政について</p>	<p>(1) 西原南小学校の2学年は1クラスですが学級の適正人数は何人か」</p>	<p>教育長</p>

質 問 者	⑬ 大 城 誠 一 議 員	質問の相手																
1. 道路整備事業について	<p>(1) 西原町は、現在8路線の道路整備事業を実施中であるが、整備が遅れていることから、町民から進捗状況や完成時期などについて問い合わせが多い。 次の事業について進捗状況を聞きます。</p> <table border="1" data-bbox="480 439 1246 685"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>進捗率</th> <th>完成事業年度 いつになる</th> <th>今年度予 算いくら</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東崎・兼久線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兼久・安室線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安室・呉屋線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 我謝・与原線に架かる橋梁整備工程について聞きます。 (3) 兼久・仲伊保線は、近隣に大手ドラッグストアの開店も有ったことから交通量が増加しているが延び延びになっているボックスカーバートの整備状況について聞きます。</p>	事業名	進捗率	完成事業年度 いつになる	今年度予 算いくら	東崎・兼久線				兼久・安室線				安室・呉屋線				町 長
事業名	進捗率	完成事業年度 いつになる	今年度予 算いくら															
東崎・兼久線																		
兼久・安室線																		
安室・呉屋線																		
2. 町民の健康を守る対策について	<p>带状疱疹予防事業について 带状疱疹を発症したとの話をよく聞く、また、テレビでは带状疱疹の予防（予防接種、ワクチン）について繰り返し放映されている。</p> <p>(1) 本町の令和4年度のから年度ごとの発症した人数は (2) 带状疱疹ワクチンの予防効果はどのように考えるか (3) 带状疱疹ワクチン接種は任意接種で有り自己負担となるが導入促進を図る観点から一部助成についての考えは (4) 恩納村は予防接種を公費負担で実施しているとのことであるが事業詳細を把握しているか。</p>	町 長																